

3 道路に関する意識調査

ともに考えよう! 21世紀のみち

道路に関する意識調査



第24回東北地方道路写真コンテスト入賞作品「小さな見物人」

わたしたちの未来のために…

福島県土木部

はじめに

福島県では、「ともに考え、ともに作る美しい県土」の実現を目指し、今後の道路行政に県民の意識や意向を反映させるために、今まで取り組んできた福島県の道路五箇年計画に沿って県民の道路に対するニーズやその財源である道路特定財源制度についてアンケート調査を行いました。

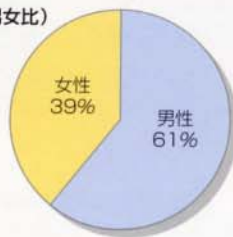
この調査により

- 県民の道路に対するニーズを把握します。
- 生活圏別の道路に関する課題やニーズを把握します。
- 今後の道路づくりの方向性の検討に活用します。
- 県民の道路特定財源制度の意識や意向を把握します。

アンケート調査

- 平成14年1月（一部 平成13年8月に開催された「道路展」にて調査）。
- 各生活圏の人口比により無作為に配布、回収。
- 総計1,633人から回答を得た。
- 区分内訳

■ 調査対象（男女比）



■ 調査対象（年代別）

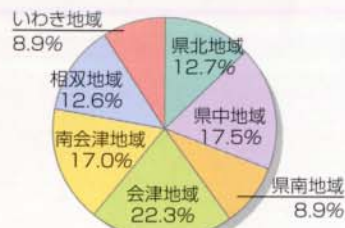


7つの生活圏

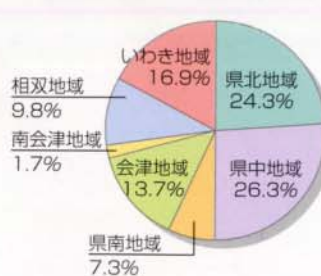
福島県は、多極分散型の県土構造となっており、それぞれの特性を生かしながら、7つの特色ある生活圏をかたちづくっています。



■ 県面積に占める地域面積の割合 注1



■ 県人口に占める地域人口の割合

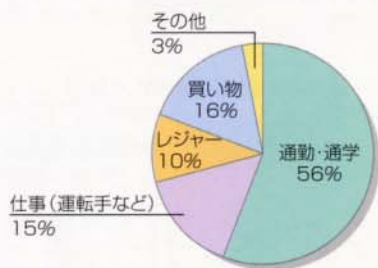


注1 会津・南会津地域の面積は、一部境界未定のため、総務庁統計局において推定した概算値を使用

福島県は、道づくりの方向性として次の5本の柱を中心として道路整備を進めています。(H10～H14)

<p>どこへでもどこまでも 福島県の道 <広域的な連携・交流を促進する道路の整備></p>	<p>主な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高規格幹線道路、地域高規格道路の整備 ● 高速交通体系アクセス道路の整備 <p>など</p>
<p>がんばる地域の活力アップ 福島県の道 <地域づくり等を支援する道路の整備></p>	<p>主な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大規模プロジェクトを支援する道路の整備 ● 観光・リゾート開発を支援する道路の整備 ● 空港・港湾をより有効に利用できる道路の整備 ● 地域生活を支える道路の整備充実 <p>など</p>
<p>まいにちの生活が楽しくなる 福島県の道 <都市の活動を支援する道路の整備></p>	<p>主な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都市の骨格となる環状・放射道路の整備 ● 渋滞ポイントの解消 ● 総合的な駐車場対策の推進 <p>など</p>
<p>使って安全頼って安心 福島県の道 <安全で信頼性が高い道路の整備></p>	<p>主な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大雨・積雪・凍結対策の強化 <p>など</p>
<p>心地よく人にやさしい 福島県の道 <快適性が高い道路の整備></p>	<p>主な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国際化に対応した標識等の整備 ● 歩行者・自転車の安全性に配慮した道路の整備 ● 景観に配慮した道路の整備 ● 道路交通情報の提供の充実・ITSの促進 ● バリアフリー道路の整備 <p>など</p>

● 日常生活で道路を利用する(自動車・自転車・徒歩)一番の理由を聞いてみました。



日常生活において最も重要な**通勤通学**が圧倒的な割合を占めています。

次のことから、福島県の自動車への依存度が高いことが推測できます。

■資料1: 県別通勤・通学者の利用交通手段

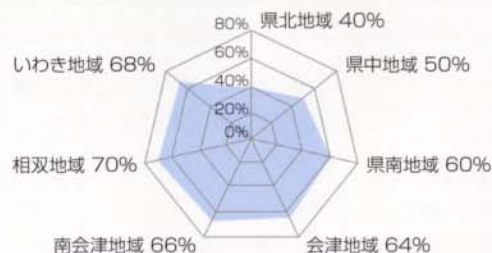


■資料2: バス、鉄道などの公共交通機関の利用しやすさ



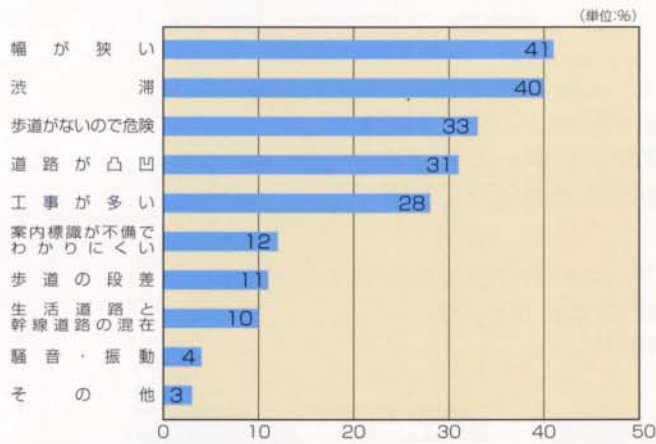
- 通勤通学に自動車を利用する福島県の依存度は57.1%で全国値の34.3%を大きく上回っています。(資料1)
- 「バス、鉄道などの公共交通機関の利用しやすさ」で満足19%、不満45%となっています。(資料2)

■地域別に見る通勤通学に道路を利用する割合



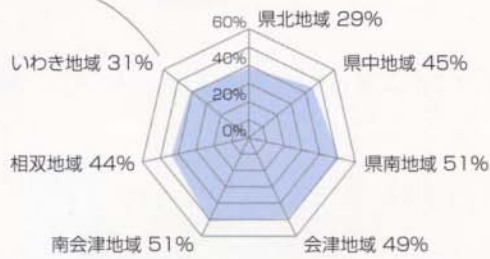
地域別に見ると比較的、公共交通機関の発達している県北、県中地域は40%～50%で、他の地域に比べ低くなっています。

●道路を利用して不満なことを聞いてみました。(複数回答)

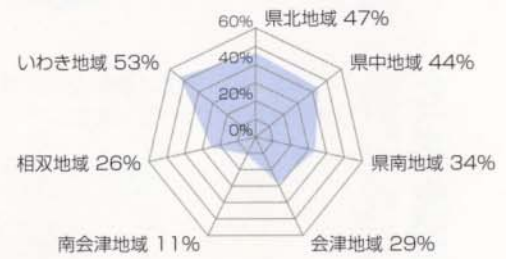


幅が狭い・渋滞・歩道がないので危険の順に不満が高くなっています。

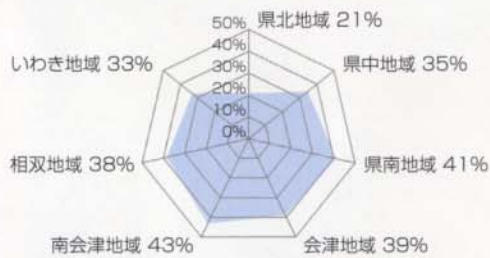
■ア:地域別に見る幅が狭いことへの不満の割合



■イ:地域別に見る渋滞への不満の割合

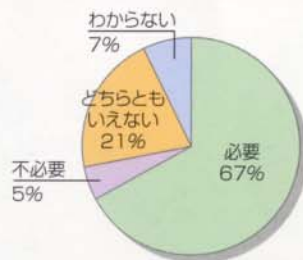


■ウ:地域別に見る歩道がないことへの不満の割合



- ア:「幅が狭いこと」については、比較的中山間地域を多く抱える地域への偏りが見られます。
- イ:「渋滞」については、人口約30万人都市を抱える県北、県中、いわき地域への偏りが顕著です。
- ウ:「歩道がないこと」については、地域別に大きな偏りは見られません。

●福島県は、まだまだ道路づくりが必要か聞いてみました。



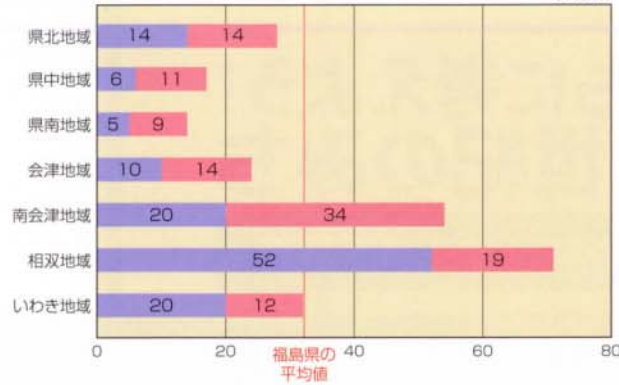
約7割が必要と回答されています。

● どの道路づくりを望んでいるか聞いてみました。(複数回答)

福島県の道路五箇年計画の5つの施策体系ごとにその結果を紹介します。

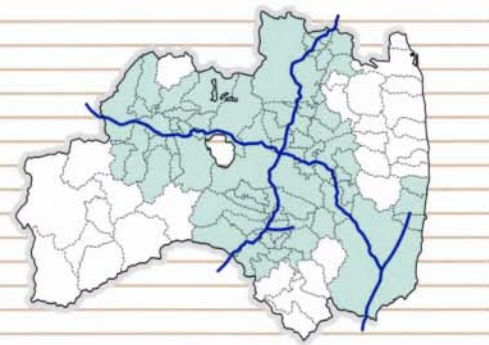
「どこへでもどこまでも ふくしまの道」～広域的な連携・交流を促進する道路の整備～

■地域別に見る高速道路の整備とICアクセス道路の整備を望む割合 (単位:%)



この施策については、代表的な項目として「高速道路の整備」「高速道路ICへのアクセス道路の整備」を見てみると、各地域の意向は高速道路の整備状況によって非常に大きく異なっています。

■ 高速道路の整備
■ 高速道路ICへのアクセス道路の整備



高速道路IC・あぶくま高原道路ICへの30分アクセス可能な市町村 (平成13年度末現在)

- 東北自動車道、磐越自動車道、常磐自動車道の利便性を享受している県北・県中・県南・会津・いわき地域は約3割以下の値となっています。
- 残された相双・南会津地域は、約5割を超える高い値を示しています。

「がんばる地域の活力アップ ふくしまの道」～地域づくり等を支援する道路の整備～

この施策については、「日常生活に欠かせない道路の整備」を望む声が多く、各地域とも半数を超える数値となっています。

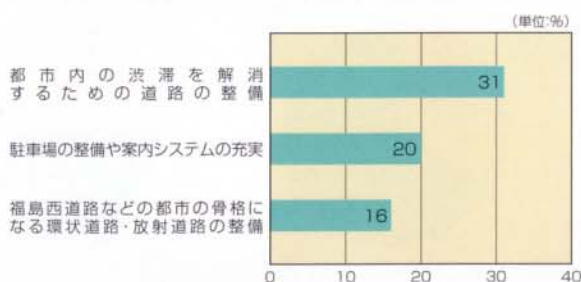
■地域別に見る日常生活に欠かせない道路の整備を望む割合 (単位:%)



- 他の地域と比べ改良率が高い県中・県南地域も、まだまだ地域住民は望んでいます。

■ 日常生活に欠かせない道路の整備
● 一般県道の改良率 (平成12年4月1日現在)

「まいにちの生活が楽しくなる ふくしまの道」～都市の活動を支援する道路の整備～



■地域別に見る都市内の渋滞を解消するための道路の整備を望む割合



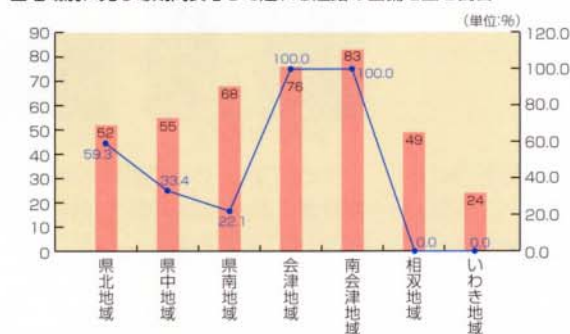
この施策については、都市部と地方部で地域の意向に大きな差が生じています。このことから都市部では渋滞対策への関心の高さ、渋滞対策を望んでいることが推測できます。

「使って安全頼って安心 ふくしまの道」～安全で信頼性が高い道路の整備～



この施策については、「冬期間、安心して通れる道路の整備」が半数を超える数値を示しています。

■地域別に見る冬期間安心して通れる道路の整備を望む割合

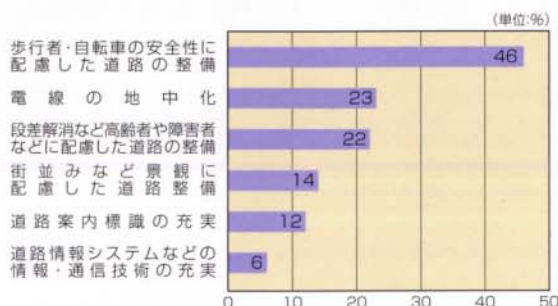


- 積雪地域を抱える地域でも特に会津・南会津地域については、**8割近く**の地域住民が望んでおり、雪との共存に苦勞していることが推測できます。
- 積雪地域を抱えてない相双地域が比較的高い数値を示しているのは、阿武隈高地での道路の凍結が原因と推測できます。

■冬期間安心して通れる道路の整備 (赤)

■各地域に占める積雪地域及び特別豪雪地帯の面積割合 (青)

「心地よく人にやさしい ふくしまの道」～快適性が高い道路の整備～



■地域別に見る歩行者・自転車の安全性に配慮した道路の整備を望む割合



この施策については、これから向かえる少子高齢化社会のため不可欠な施策であり、各地域の意向に大きな差は生じておらず、県民の歩行者・自転車の安全性の確保を望む声が高いといえます。

また、福島県の歩道整備率は40.8%で、全国値の58.3%を下回っています。(平成12年4月1日現在)

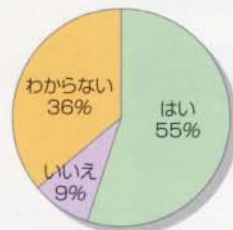
● これからの道路整備

福島県は、多極分散型の県土構造の中に特色ある7つの生活圏が形成されています。それぞれの地域が有する歴史や風土、気候はそれぞれの地域で異なります。また、このアンケート結果からもわかるように道路に求めるものも地域によって多種多様です。

このようななか、その地域の特性を生かした魅力ある住みやすい地域づくりを一層推進させていく必要があります。そのためには、その地域の方々とともにその地域にあった道路づくりを進めていかなければなりません。

福島県は、「ともに考え、ともにつくる美しい県土」を基本目標に、地域住民とともに考え、地域のための道づくりを今後も進めていきます。

■もし、あなたがお住まいの身近な箇所に道路が計画された場合、あなたは計画づくりに積極的に参加してみたいと思いますか？



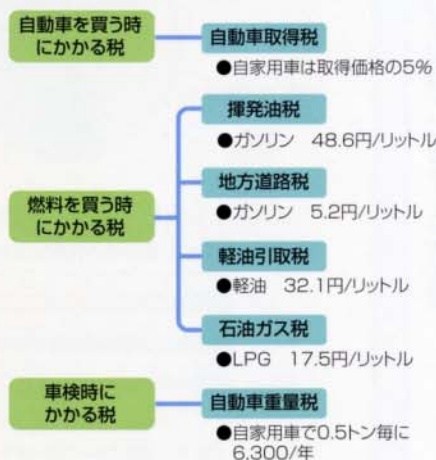
道路の計画づくりに積極的に参加してみたい県民の意向は、約半数を超えています。

昭和28年以来、道路整備を支えてきたのが「道路特定財源制度」です。我が国の道路整備を緊急かつ計画的に行うため、「より多く道路を利用する人が、より多くを負担する」という受益者負担・原因者負担の考え方に基づき自動車利用者に道路整備費の負担を求めるものです。

● 道路利用者と道づくりの関係

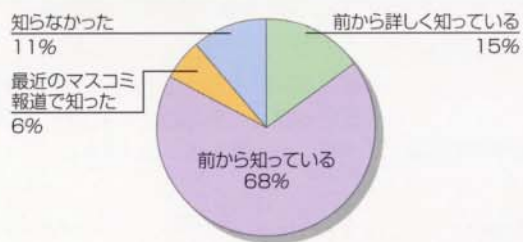


● 道路特定財源制度のしくみ



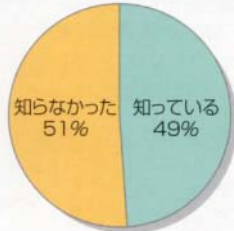
● 道路特定財源制度について次のことを聞いてみました。

■ガソリンを買ったり、車を買うときに払うお金の一部が道路づくりに利用されていること(道路特定財源制度)は知っていますか？

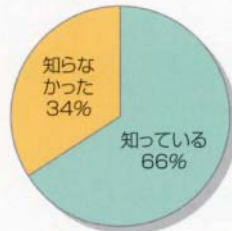


道路特定財源制度については、「知っている」が8割を超える割合を占めています。しかし、「前から詳しく知っている」15%にとどまっています。

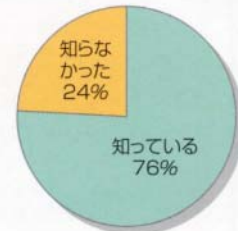
■現在、ガソリン1リットル当たり揮発油税48.6円、地方道路税5.2円の税がかかっているのは知っていますか？



■現在、車検時に自家用自動車0.5t毎に6,300円/年の自動車重量税がかかっているのを知っていますか？

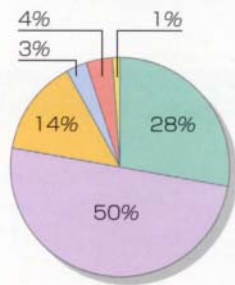


■現在、自家用自動車購入の際、取得価格の5%の自動車取得税がかかっているのを知っていますか？



個別諸税のうち、請求書などに記載してある自動車取得税、自動車重量税は、ガソリン税に比べ「知っている」割合が高くなっています。

●受益者負担・原因者負担の考えに基づいた道路特定財源制度をどう思うか聞いてみました。



- 道路を利用するのでその一部を負担するのは当然である
- 道路を利用するのでその一部を負担するのはやむ得ない
- 道路にはある程度満足しているので税率を下げるべき
- 道路にはもう満足しているので道路づくりを目的としたこの制度はもういらぬ
- わからない
- その他

「当然である」「やむ得ない」が約8割を占めており、受益者負担・原因者負担の考えに基づいた道路特定財源制度について理解が得られていると推測できます。

整備事例

国道252号 松倉トンネル

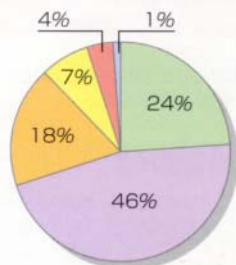


国道118号 若松西バイパス



また、これまでの道路特定財源制度による道路整備により、移動時間の短縮や安全性が着実に向上しております。

●受益者負担・原因者負担の考えに基づいた道路特定財源諸税を道路づくり以外に使うことについて、聞いてみました。



「道路づくりのみに使うべき」「道路づくり以外に使うなら税率を下げるべき」が約7割を占めており、現在の税率のまま道路づくり以外に使うことについては、理解が得られられないと推測できます。

- 今までどおり道路づくりのみに使うべき
- 道路づくり以外に使う余裕があれば、ガソリン税等の税率を下げるべき
- 財政逼迫・構造改革のため、道路づくり以外に使うのもやむ得ない
- 道路づくり以外にも使うべき
- わからない
- その他

道路行政に対する県民の意見・ニーズ

「道路に関する意識調査」の結果より（平成14年1月に実施）

<p>事業の進め方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業がおくれている ・ 道路工事は早期に完成させること。5年以内 ・ 将来計画をしっかりとてて事業をしてほしい、いきあたりばったりのような感じがする ・ 事業に着手したところは効果を上げるために早急に整備すべきである ・ 定期的に事業の見直しをするべきだ ・ 市町村合併に伴う生活行動圏の拡大を視点とした道路整備の実施 ・ P F I の導入促進 ・ 都市計画道路の整備が大変遅れている ・ 住民のニーズ取り入れる機会を増やしてほしい ・ 県民の意見を反映して下さい ・ このまま推進して欲しい ・ 広大な面積、高低差の多い地形等を考慮した効率的な計画整備を
<p>事業箇所について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ まだ整備の進んでいない道路がたくさんあるので今後も整備に努力してほしい ・ 交通量の少ない県道等にトンネルなど立派な道路が造られている所も見受けられるが、重要な生活道路の整備（狭い、未舗装）が遅れている所もある様なので重要な道路の整備優先に計画してほしい ・ 投資効果を考えてほしい ・ 無医村の過疎地に住んでいる、基幹道路も生活道路も未整備である。人間らしく生きるための環境がほしい ・ 特定の人の要望だけで道路をつくっていないか ・ 交通量のないところを整備してもスピードを出すだけだ ・ 幹線道路からのアクセスの整備 ・ 一般道のバイパス化 ・ 無駄でないものをつくってもらいたい ・ 街内（市内）優先の事業は反対 ・ 水田が減ってしまい道路ばかりになってしまうのでは ・ 渋滞解消工事後さらに渋滞している
<p>事業はもういい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無駄だと思われる道路改良工事が多い ・ 維持管理は必要だが道路造りは必要ない ・ 整備されている方だと思うので、このままで良いのでは ・ 不必要な道路が多い ・ 現在の道路を広げ新たに作ることはなるべくさげたい ・ バイパス整備により集落が空洞化する
<p>予算・財源・自動車税等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県に限らず「年度内に予算消化」しないでどんどん繰り越して平準化を ・ 本当に必要な所（道路）にお金をかけてほしい ・ 街路事業へ特定財源を移行してほしい ・ 道路特定財源は道路事業以外にも使うべきである ・ 道路事業よりも借金（国債）を減らしてほしい ・ 予算が減っている今、土木費は最も減らすべきではないか ・ 道路特定財源は必要だ ・ 道路特定財源を一般財源にあてるといのは納得いかない ・ 自転車や歩行者も道路を利用しているのに自動車に乗る人だけが税金の負担が大きいのはおかしい ・ 車は社会生活一般に影響を与えるので道路づくり以外にも使うべき ・ 道路財源については県に一任すべき ・ 税金の使い道をもっと明確にほしい

道路行政に対する県民の意見・ニーズ

「道路に関する意識調査」の結果より（平成14年1月に実施）

- ・ 首都圏と地方部と同じ自動車税というのは納得いかない

道路行政に対する県民の意見・ニーズ

「道路に関する意識調査」の結果より（平成14年1月に実施）

高速道路、 地域高規格道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暫定2車線の高速を4車線化してほしい ・ 規格の高い道路を整備してほしい ・ 規格の高い道路の建設については、行政側からの評価・計画だけではなく、民間コンサル等 の批評も公表すべき ・ 規格の高い道路の整備より生活密着型道路の整備、維持について考えてほしい ・ 高速道路の整備は必要か ・ 高速道路まで時間がかかりすぎる ・ インターチェンジを増やしてほしい ・ 高速道路は必要なのでしょうか、国道を整備すれば十分なのでは
生活道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活道路を充実してほしい ・ 市町村道の舗装率の向上 ・ 生活圏の道路整備 ・ 生活圏を結ぶ道路整備 ・ 小さな町の道路の整備もしてほしい ・ 市町村道についても、補助事業等を効率よくお願いしたい ・ 町内を走る県道の充実をはかってほしい ・ 山間地の生活道路の充実
観光道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客の道路渋滞、生活道路としての使用に不都合が生じている ・ 観光道路が優先している状況である、生活道路の整備の充実がいいのでは ・ 休日混み合う道路を解消するための整備をしてほしい
こんな道路にしてほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全な道路が欲しい ・ 生活道路が安全性を欠いている ・ 安全な道路充実を望む ・ 運転者の利用しやすい道路づくりをして下さい ・ 道の駅のような休憩所を多く作ってほしい ・ 消防車、救急車等が入れない箇所がかなりあるので、緊急時の時の為に改善して欲しい ・ ゆとりある道路。やすらぎのある道路を目指してほしい ・ 高齢者に優しい道をつくってほしい ・ 身障者にやさしい道づくりを ・ 初心者でも走りやすい道路を ・ 渋滞のないように道をつくってほしい ・ 防災上も道路幅員確保が必要 ・ 交通事故が多発しているので、安全対策がなされた道路を建設してほしい ・ せめて普通自動車がゆとりをもってすれ違えるくらいの道幅を
こんな道路にしてほしい 具体例	<ul style="list-style-type: none"> ・ 片側2車線の道路が多く、運転しやすい ・ 山間部道路の拡幅 ・ 道路をもっと広くしてほしい ・ 狭いように感じます ・ 二車線にすべき ・ 通学路は、車の通行が多いので道を広くして欲しい ・ 山間部は歩道よりも路肩を広くとった方がいいのでは ・ 急カーブの改良を要望する ・ 山間部の曲がりくねった道を、少しでも曲がり角を少なくして欲しい ・ 右折レーンの設置 ・ 立体交差 ・ 町道との接点をよくしてほしい

道路行政に対する県民の意見・ニーズ

「道路に関する意識調査」の結果より（平成14年1月に実施）

- ・ 走りやすい凹凸のない道路、混雑しない道をつくって頂きたいです。側道に花のある道が理想ですね
- ・ 国道4号のでこぼこが激しい
- ・ 山奥の林道の落石やがけくずれを直してほしい
- ・ 冬場の安全を考慮した道路を作って欲しい
- ・ 電柱を道路幅員内へ立てないでほしい

道路行政に対する県民の意見・ニーズ

「道路に関する意識調査」の結果より（平成14年1月に実施）

<p>こんな道路にしてほしい 具体例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水はけの良い道をつくってほしい ・ 照明施設を増やしてほしい ・ 側溝の整備に力を入れてほしい ・ 電線の地中化を進めてほしい ・ 車道、歩道、自転車道の分離 ・ 道の整備より街灯を増やして欲しい,夜道がこわい ・ 交通量の多い道路の整備は走りやすいように作ってください ・ 道路は歩行者優先にして下さい ・ 消雪施設がほしい ・ 積雪地帯の（除雪帯の設置など）道路整備の促進 ・ 街並みに配慮した道路整備を ・ 堤防を主要道路に活用すべき
<p>維持管理に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 維持管理を徹底してほしい ・ 路肩に堆積している土砂等の管理してほしい ・ 区画線の管理が悪い ・ 舗装の凸凹など管理が悪い ・ マンホールなどで凹凸が多い ・ 除雪をもっとしてほしい ・ 除雪を早くしてほしい ・ 歩道の除雪を重視してほしい ・ 主要道路だけでなく狭い道路にも融雪剤をまいてほしい ・ 市道は、国道より管理が悪い ・ 道路の清掃、草刈りを徹底してほしい ・ 側溝が詰まっているところが多い ・ 予算がないので出来ない（維持管理）という回答はやめてもらいたい ・ 県境の整備が遅れている ・ 凍結して大変危険だ ・ 道路わきの針葉樹を伐採して路面凍結しないようにしてほしい ・ 下水道等の工事の後、道路が凸凹している箇所がある ・ 屋根の雪が道路に落ちて危険 ・ 縁石をなくしてポール化して冬期間の道幅の確保をしては ・ 冬期間通行止めの道路をなくしてほしい ・ 普段誰も通らないような所でもパトロールしてほしい
<p>情報提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確実に目的地に行ける道路標識。途中で案内標識がなくなる道路がある ・ 渋滞についての情報を詳しく知りたい。（一般道） ・ 例えば地方道を走っていて地方の市町村名を出しているがそれほどどこに結びつくのか ・ 主要な道路以外の道での安全の配慮 ・ 道路標識をもっと詳しく出して欲しい ・ 案内標識をたよりに通行しても道をまちがえる ・ 右折信号がない ・ 観光案内の充実
<p>歩道について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県道に歩道がないところが多い ・ 歩道は必要なので全ての道につけて下さい ・ 歩行者、自転車の安全第一 ・ 今後は歩行者が安心して歩ける道路整備を望む ・ 交通量の多いところに歩道をつくってほしい ・ 歩道（自転車道）の充実

道路行政に対する県民の意見・ニーズ

「道路に関する意識調査」の結果より（平成14年1月に実施）

- ・ 歩道、（通学路etc）の整備。特に旧国道沿いなど
- ・ 歩道の段差解消、歩道の幅も広い所まちまち、自転車も通れない様なほとんど形だけの自転車道にならないでしょうか
- ・ 小中学校の歩道の幅を十分つけてほしい
- ・ 自転車や歩行者が安心して通行できる歩道の整備をして欲しい
- ・ 人が通らない歩道はிரない
- ・ 街路樹が歩道を狭くしている

道路行政に対する県民の意見・ニーズ

「道路に関する意識調査」の結果より（平成14年1月に実施）

自然、緑	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然にやさしい道路を ・ 緑を残して道路をつくってほしい ・ 道路の周りに木や花を増やしてほしい ・ 必要以上の工事は、もう止めて欲しい。もっと自然を大切に、破壊して欲しくないですね ・ 皆が自然に利用しやすいような道づくりをしてほしい ・ 交通量の少ない道路は、自然に考慮して舗装しない方がいいのでは ・ 林道をつくる場合よく考慮してほしい ・ 小さな生物にも配慮した道路整備 ・ 余ったところがあったいなので木や花を植えてほしい
工事に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年末年始の道路工事をやめてほしい ・ 年度末の道路工事が多すぎるので、困ることが多いです ・ 冬工事が多いのでは、夏に工事をやったほうがいいのでは ・ 冬の工事は寒そうで工事している人がかわいそう ・ 工事は混雑する時間帯を避けてほしい ・ 住宅地の近くを工事するときは早朝、夜間はやめてほしい ・ 朝夕の通勤時間帯の工事はやめてほしい ・ 道路工事は夜間にしてほしい ・ 工事期間が長すぎる、人数ばかりで、仕事をしている人が少ない ・ 道路工事が長すぎる ・ 同じ路線で何カ所にも分けて工事すると渋滞がひどくなるのでずらしてほしい ・ 工事に伴う出入り口の道路破損、汚れを注意してほしい ・ 工事期間中の看板があっていないため混乱する ・ 虫食いで工事しないでまとめて工事してほしい ・ 工事中の通行をもっとスムーズに ・ 片側交互通行時の通行バランスよく考えてほしい ・ 工事するのはいいが工事をしてかえって道が悪く凸凹になるのはあまり良くないと思う ・ 工事の後のすりつけが悪く走りづらい ・ 舗装後すぐに他の工事のために掘り返される。水道、電話等しっかりと計画のもとに工事をしてもらいたいと思う。 ・ 毎年、毎年道路工事が多すぎる
ここをこうしてほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他府県と比較して福島県は道路状況がよくないので今後整備が必要だと思う ・ 東西の道路整備が、南北の道路整備より遅れているため進めてほしい ・ 南北の道路整備が、東西の道路整備より遅れているため進めてほしい ・ 福島県は面積が広いので遠くの市町村への移動がもっと早くできるように ・ 浜の道路の整備が中通り、会津地方より遅れている ・ 東北道は最初の高速道路であるので、東北白河の関以北より、アピール出来る様にしてほしい ・ 会津はどこへ行っても素晴らしい道路であるが県中管内は、まだまだ不備であると思う ・ 他県に比べ道路進歩が遅い ・ 福島県の道路は新潟県の道路より悪い ・ 旧道は閉鎖しないでほしい ・ 隣接県へのアクセスをよくしてほしい ・ 相双地方に対する整備を多くしてほしい ・ 宮城県より道路の整備が遅れている ・ 都市部より地方部の道路整備が遅れている ・ 中通りの道路は整備されているため人口の少ない相双地方の整備を ・ 相双地方・中通りの道路整備を ・ 地方は道路整備が遅れており、ますます過疎化し都市部から取り残される

道路行政に対する県民の意見・ニーズ

「道路に関する意識調査」の結果より（平成14年1月に実施）

- ・ 双葉地区は日本有数の原子力発電基地でありながら避難道路をかねた道路の整備がされていない
- ・ 浜通りの道路の整備がおそい
- ・ 市内の道路（バイパス）が不便
- ・ 南会津から若松方面への道路を整備してほしい

道路行政に対する県民の意見・ニーズ

「道路に関する意識調査」の結果より（平成14年1月に実施）

<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路を利用する方々のマナーが向上することを願います ・ 広い福島県の道路をよく管理していると思う ・ 頑張ってください ・ このままでよい ・ 良くなる様に ・ 次回の写真コンテスト応募したいです ・ 道路の整備をして下さい ・ 構造令にあわない道路も補助対象としてほしい ・ とても良い環境だと思います ・ 今の道路で充実した運転ができる ・ 渋滞が解消された ・ ETCをもう少し早く福島にも取り入れる ・ 高速道路のETCなど充実させる ・ あまりありすぎてどう答えていいかわかりません ・ 道路移転に伴う家屋移転が何年もしないうちに再移転することがよくある ・ 今回のようなことは、毎年続けてほしい ・ たいへんだらうけれどもがんばって欲しいです。期待しています ・ 今現在、住んでいる神奈川に比べれば、とても走りやすいです ・ 交差点との公共用地が公売されるケースがない ・ エコロジーカーの導入に協力しエネルギー消費をおさえるべき ・ 条例で県独自の交通規制を考えては ・ コミュニティ道路等の議論をすべきだ ・ いわきはガソリンが高い ・ 道路整備の余剰地を緑化したりしているが、地域にあった利用がされていない ・ いい道だ ・ 栃木県より良い ・ 良くなっている ・ 即実行 ・ 県道として機能している県道が少ない ・ 側溝に情報システム（光ケーブル）などを設置し活用しては
------------	--